

日中活動の抱負と今後の展望

日中活動は前年度までは、週に火・水・木の3日を穂の花・いろ花での活動、月・金をクラブ活動や和泉の里館内での活動と設定して、自立課題を中心に取り組みを行ってきました。

今年度より段階的に、穂の花での日中活動時間・曜日設定の拡大を図り、内容についても自立課題のほかに「レクリエーション」や「スヌーズレン」、和泉の里での活動では屋上での軽運動等を取り入れる事を計画しています。コロナ禍が終わり、様々な制限が解除されてからは「買い物外出」や「調理レクリエーション」を導入していきたいと考えています。

長く続くコロナ禍で、ご利用者のストレスやいらだちに対して、「楽しい活動」を提供させていただく事で、不安が少しでも解消され、気分転換に繋がるように取り組んでいきたいと考えています。

今後も広報等を通して活動内容や取り組みを掲載し、ご家族の皆様へ発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(記 西出将馬)



季節のお楽しみメニュー

4月6日(火)の昼食は、お花見昼食で春の彩り寿司、新玉ねぎのかき揚げ、わかめと豆腐の赤だしが出ました。春の彩り寿司はその献立名のように、春の色で彩られた華やかなお寿司でした。

「きれいやな〜」「美味しいわ」といった声をご利用者の方より聞かれ、皆様とても満足して召し上がられていました。お寿司が春を彩り、かき揚げと赤だしが花を添える、まさしくお花見昼食と呼べる一品でした。

(記 上田真史)



4月16日(金)の夕食は、お楽しみメニューでした。いちごのパフェは、とてもクリーミーで、ビーフシチューもお肉をはじめ具沢山でした。

そして新たに厨房で導入されたスチームコンベクションオープンを使った温玉子もシーザーサラダに添えられて、まるで洋食屋さんに行った気分でした。ご利用者の皆様も思わず笑顔でにっこり、美味しく召し上がられていました。

(記 坂本達夫)



新職員の紹介

4月より、ささゆり作業所から和泉の里で勤務に就く事となりました杉岡和江(すぎおかかずえ)です。

長年、ささゆり作業所で、栄養面からご利用者の皆様の健康維持と増進に努めてきましたが、これからは調理面で、ご利用者の皆様楽しんでいただけるよう食事提供に努めていきたいと思っております。

早く仕事に慣れ、調理員の一人として衛生面に留意し、皆様に満足していただけるよう心がけていきますので、よろしくお願い致します。

(記 杉岡和江)



4月から、和泉の里に勤務する事になりました水本小夏(みずもとこなつ)です。

しっかりと基本を覚え、ご利用者一人ひとりを知る事から始めていきます。ご利用者の方に寄り添える、そのような支援員になれるように努めていきますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

(記 水本小夏)



育児休業を終えて復帰のご挨拶

令和3年4月より、育児休業から復帰した塩谷奈実です。子どもの出産と育児の経験を通して、色々な考え方が出来るようになりました。

今後はご利用者の皆様への支援に活かす事が出来るよう、日々精一杯頑張りたいと思っておりますので、どうか宜しく願致します。

(記 塩谷奈実)



春の健康診断が行なわれました

診療所では健康診断を春と秋に行い、身長・体重・採血・検尿・レントゲン・心電図(春のみ)を実施し、医師に検査結果を見ていただき診察を受けます。

「障がい者支援施設は、施設入所支援のご利用者に対して、毎年2回以上定期に行わなければならない」と、ご利用者の健康管理について法律で定められています。

ご利用者の皆様の中には身体の不調を訴える事が難しい方もいらっしゃいます。定期的に健康診断を行う事により、病気等の早期発見につながります。また、ご利用者の皆様の支援を行う職員の健康診断も行っており、職員の健康がよりよい支援につながります。健康診断をきっかけに、皆様が口ごろの生活習慣を見直すきっかけとなればと思います。

(記 岡部慶子)

